

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
大宜味村1	1. 人工透析施設について	
	①70床の予定と聞いたが、北部地区の患者の受け入れは可能なのか	北部医療センターの人工透析室の規模については、県立北部病院及び北部地区医師会病院、ちゅら海クリニックの規模、また将来対応を加味し、70床を整備することとしております。
	②スタッフの70床に対する配置は可能か	北部医療センターの人工透析室の運営に必要なスタッフ（看護師および臨床工学技士）の確保に努めてまいります。
	③シャント手術も北部医療センターで可能か	北部医療センターでは、シャント手術も実施する予定としております。
	④夜間透析の診療もあるのか	北部医療センターでは、現時点で夜間透析の予定はございません。
今帰仁村1	病児保育について	病児保育については、新病院敷地内に整備する保育所の運営事業者において、ニーズや人員配置等を検討した上で決定することとなります。
	不妊治療は受けられるか？	北部医療センターにおける高度生殖補助医療（体外受精、顕微鏡受精等）の実施については、専門医の確保等が必要であることから検討中でございます。
今帰仁村2	・北部地区は元々中南部に比べて人口は大分少ないです。そのような中で2病院の患者を集約したとしても症例数を確保できるのか。確保できなければ結局医師不足となり、せっかく34の診療科目があったとしても休診状態になってしまっは意味がないように思いますが、そのへんについてデータなどがありますか。	県立北部病院と北部地区医師会病院を統合し、新たに北部医療センターを整備することによって、医師の集約化が図られ診療体制が手厚くなり、患者の集約（症例数の増加）が図られるものと考えております。
	・私の記憶では、一番最初のスタートは北部地区に急性期（というんですか）の産婦人科がない、北部病院の産婦人科の休診が続き、北部地区で安心して子どもを出産することができない、常駐する産婦人科医のいる病院があってほしい、というところからスタートしていたように思っています。今でも北部地区は産婦人科がすくなく、「北部では子育てできない」と友人たちからも言われます。新しい病院は産婦人科と小児科が同じフロアにあるということなので、今後、北部の子育て世帯が安心して子どもを産み育てることのできる一助となる施設にしてほしいです。	貴重なご意見として承りたいと思います。
今帰仁村3	・労働条件が北部地区医師会病院が基本となるとの話でしたが県内の総合病院の給与と比較して平均より高いのか低いのか教えて下さい。	北部地区医師会病院と同等の県内急性期病院に対して勤務状況などの調査を行い、北部地区医師会病院の労働条件等について比較したところ、給与水準は標準的であることを確認しております。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
	・健診センターは1日に何人の受入れが可能ですか。現在の医師会健康管理センターより少なくなることはないですか。	北部地区医師会病院の健康管理センターの規模・機能・定員を前提とした設計としております。
	・市町村の乳幼児健診や予防接種などの委託契約は可能ですか？	北部医療センターでは市町村の乳幼児健診等を委託契約する予定はございませんが、北部医療センターの関与が必要な場合は、市町村の計画も踏まえ、北部医師会など関係者と調整したいと考えております。
今帰仁村4	・透析ベッド数は何床でしょうか？県北、ちゅら海クリニックを合わせたものより多くなりますか？北部の透析ベッド数の少ないことは喫緊の課題なので。	北部医療センターの人工透析室の規模については、県立北部病院及び北部地区医師会病院、ちゅら海クリニックの規模、また将来対応を加味し、70床を整備することとしております。
	・健診後の二次健診の受け入れも可能ですか。 現在医師会病院の一般内科での二次検診の受付は休止されており、必要な検査のできる開業医が北部地域には少なく困っているため。	北部医療センターでは二次検診の受け入れの予定はございませんが、必要な場合は、関係機関と調整していきたいと考えております。
本部町1	・人工透析患者さんが増えている現状ですが、公立沖縄北部医療センターの説明では、北部地区医師会病院と県立北部病院の両病院のベッド数と理解していますが、十分でしょうか。	北部医療センターの人工透析室の規模については、県立北部病院及び北部地区医師会病院、ちゅら海クリニックの規模、また将来対応を加味し、70床を整備することとしております。
	地域では、腎臓専門医に紹介すべき住民の方は、北部の医療機関へは紹介できず、中部の医療機関へ紹介する事になっています。かかりつけ医で透析間近まで抱えている現状があります。中部地域に紹介しなくても良い体制になっていきますか？	北部医療センターでは地域完結型の医療提供体制の構築を目指しており、必要なスタッフの確保に取り組むとともに、地域の医療機関等とも連携し、腎疾患の治療体制構築に努めてまいります。
	駐車場について	
	・健診センターもある様ですが、駐車場は十分でしょうか？	駐車場は、外来・一般用と職員用を合わせて約1,300台程度整備することとしており、患者及び職員の利便性を考慮した必要台数を確保していると考えております。
	・広い駐車場だと利用する方の負担が大きいのではないのでしょうか？	病院のエントランスに身障者用の駐車場や車寄せを設置し、負担の軽減を図ることとしております。
	・立体駐車場の案はなかったのでしょうか？又今後の予定としてはどうでしょうか？	立体駐車場を整備するとした場合、建築基準法の制限により、設置台数が限られてしまうことのほか、コスト高となることから設置する予定はありません。
	・産婦人科のベッド数は十分でしょうか？	産婦人科のベッド数については、北部地域の状況を踏まえた必要数を確保していきたいと考えております。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
	北部の開業医で入院できる産婦人科は、1施設と思いますが安心して子を産める地域を希望します。	貴重なご意見として承りたいと思います。
本部町2	・北部健診センターと同規模の機能を整備とありますが、健診受診率の向上のための、健診センター規模の拡大など、予定はありますか。	北部地区医師会病院の健康管理センターの規模・機能・定員を前提とした設計としており、これ以上の規模の拡大の予定はありません。
	・診療科目が34科と予定していますが、医療センターで実施できる手術も拡大しますか？	県立北部病院及び北部地区医師会病院を統合することによって、北部医療センターでは、①医師等医療従事者の集約化が図られ診療体制が手厚くなり、②患者の集約（症例数の増加）により診療技術の向上が図られることが期待されています。 一方で、手術を実施するに当たっては、専門医、麻酔医及び補佐を担う認定看護師、認定技師等の医療人材の確保が重要であり、それら人材確保が整えば自ずと実施できる手術も増加するものと考えております。
	・看護師の給与、賞与など、県立病院と同等にすることは、難しいのでしょうか。→同等だと、人が集まるのでは？	看護師を含め北部医療センターに勤務する職員の労働条件については、令和2年7月に県知事及び北部12市町村長等が合意した「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書」において、北部地区医師会病院の労働条件（給与、賞与を含む）を適用することとされており、現在、北部医師会病院において労働条件の改善に取り組んでいるところであります。
本部町3	・スタッフの確保について質問がありましたが、福利厚生や雇用形態については、現医師会の体制がベースになるとのことでした。実際の給与賞与などがどれくらい見込めるのか聞きたいです。	北部医療センターにおける給与・賞与については、北部地区医師会病院の基準が適用されることとなっております。なお、個々の給与・賞与につきましては、職種・勤務形態・勤務年数・保有資格等の条件により異なることから、一概にお答えすることはできません。
	・医師、看護師不足がいられていますが、県内のみでスタッフの確保をするのは困難であると感じます。県外へのスタッフ確保の為の取り組みが行われているか知りたいです。	県外からの医師の確保については、大学病院と開院時の医師の派遣に向けた調整を行っております。また、県外からの看護師の確保については、令和7年度より、県外への就職説明会や移住イベント参加等の取り組みを始めています。
	・小児病棟のつきそいベッドについて 新病院の小児病棟では、そもそも”つきそいあり”なのか、完全看護なのか決まっているか知りたいです。	北部医療センターにおいては、小児病床を30床整備する予定としており、看護師数については診療報酬上の施設基準に必要な人員の配置ができるよう調整を進めてまいります。 なお、北部医療センターにおいては、小児病棟の全てのベッドに付添人の休憩用ソファベッドの設置を予定しております。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
	入院する小児患者は小児ガンやオベなどの長期入院も見込んでいますか？そうであれば完全看護の体制が必要であると思います。	沖縄県では、小児のがん診療、高度小児外科は琉球大学病院と南部医療センターに治療が集約化されており、北部医療センターでは、小児がんの長期入院治療は予定されておられません。 なお、現在県立北部病院で行われている初期対応と両医療機関との連携については、北部医療センターでも継続されるものと考えております。
	・夜勤の時の仮眠室、ベッドは確保されますか？	仮眠室については、各病棟、手術部門内、救急センター、放射線部門などに整備を予定しているほか、女性職員専用の仮眠室の整備も予定しており充実が図られるものと認識しております。
	・2交代か3交代か知りたいです。	看護師については、原則、変則二交代制勤務を予定しています。
本部町4	・送迎バスの有無	送迎バスのあり方については、市町村のコミュニティバス等との連携や役割分担等の議論を踏まえ、検討を進めていく必要があるものと考えております。
	・高齢社会の中、独り暮らしが多くなっている中、対応は？	北部医療センターは、北部医療圏において高度急性期及び急性期医療を担う唯一の医療施設として地域医療を担うこととしております。高齢化の進展等も踏まえ、地域の医療・介護・福祉関係機関と連携を強化しながら、北部地域の皆さまが安心して必要な医療が受けられる体制づくりに取り組んでまいります。
	・仕事の勤務期間のあり方、改革は？ ・夜勤選属（専属？） 短時間勤務で合同化 ・早朝選属（専属？） ・食事介助（老人会、婦人科等協力、ボランティア）	看護師については、原則、変則二交代制勤務を予定しておりますが、看護師からの要望等も踏まえ、夜勤専属などの勤務シフトについても柔軟に対応していきたいと考えております。 また、その他の職種についても、タスクシフトやスポットワークについて検討していきたいと考えております。
	・離島からの入院患者の付添家族の泊り宿は？	現時点では、入院患者の付添家族専用の宿泊施設の整備予定はありませんが、離島から沖縄本島等に通院する患者及び患者の付添人の通院に係る航路運賃、航空運賃及び宿泊費に対しては、市町村がその全部又は一部を助成する事業が実施されております。
金武町1	①必要人員に対する現在の充足状況及び今後の見通し、計画はどうなっているのか。	両病院及びその他の県立病院の職員に対して説明会を開催するとともに、働きやすい職場環境の整備を進めることで、転籍希望者の増加に継続して取り組んでおります。また、給与・待遇面をはじめとする就業規則等のブラッシュアップを検討しつつ、転籍・派遣の意向を示した職員への個別相談を進めるとともに、意向が定まっていない職員に対しても呼びかけや説明会を実施し、開院に向けた人員確保に努めてまいります。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
	②県立病院と医師会病院で異なる給与水準や処遇について、統合後はどのような水準にそろえていくのか。	労働条件については、令和2年7月に県知事及び北部12市町村長等が合意した「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書」において、北部地区医師会病院の労働条件を適用するものとするとしております。
	③医療人財の雇用主は医療組合なのか財団なのか。	北部医療センターで働く医療従事者（医師、看護師、コメディカルなど）については、沖縄県北部医療財団の職員となります。（県からの派遣職員を除く）
	④看護師確保の為、新卒へのアピールしている事例はあったが、転職、中途採用者へのアピールや募集計画はどのようになっているのか。	病院ホームページやハローワーク、業者を含むWeb広告及び過卒を含めた就職説明会等を引き続き実施してまいります。
金武町2	・北部地域は中、南部よりも産婦人科がほぼ無い状態です。子どもを安心して産む場所の拡充として出産受け人数など北部全体の需要はどのくらい満たせるのか。	産婦人科を含む小児医療について、北部医療センターでは、地域で求められる医療提供体制の構築に努めてまいります。
	・名護市以外、11町村遠方の妊婦、高齢者の交通アクセス手段がきびしい方々の具体的なアクセス整備計画は11町村との連携はどのようになされているか。	北部医療センターへの交通アクセス手段については、市町村のコミュニティバスや民間事業者との連携及び役割分担等の議論を踏まえ、検討を進めていく必要があるものと考えております。
	・不妊治療への取り組みは。	北部医療センターにおける高度生殖補助医療（体外受精、顕微鏡受精等）の実施については、専門医の確保等が必要であることから検討中でございます。
金武町3	・両院合わせて職員数1300名いるとありましたが、開院時において何名確保が必要なのか	令和4年3月の「公立沖縄北部医療センター整備基本計画」では、北部医療センターが担うべき医療機能を確実に提供するための職員数は1,271名と計画されており、今後とも必要なスタッフの確保に取り組んでまいります。
	・両院合わせた病床数より少ないが現在入院している患者の取り扱いについて	北部医療センターの病床数は、県立北部病院及び北部地区医師会病院の許可病床の合計数との比較では少ないものの、両病院では常時空床が発生しているため、両病院からの転院に必要なベッド数は確保されているものと認識しております。
	・現在医師会病院はメッシュサポートと距離が近い。今後遠くなることについてどのように対応していくか。	NPO法人メッシュサポートとの連携については、今後検討を進めていきたいと考えております。
金武町4	・働く職員が継続して働ける職場環境整備に努めてほしい。	貴重なご意見として承りたいと思います。
	・バスでも通院できるよう、交通手段を検討して欲しい。（車の免許を返納した時、通院に困る為）	北部医療センターへの交通アクセス手段については、市町村のコミュニティバスや民間事業者との連携及び役割分担等の議論を踏まえ、検討を進めていく必要があるものと考えております。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
	・交通渋滞にならないよう、道路整備を行って欲しい。（ジャングルアもできて、今後名護市の観光が増える可能性もある為）	道路整備については、道路管理者である県、関係市町村等において整備の必要性等の検討がなされるものと認識しております。
金武町5	医師の確保・定着が難しいのは、主な交通手段が車であり、中南部との距離もありますが、路線や車線の不足にあると思います。 実際、金武から名護へ通勤していますが、年明け1月より、高速道路の工事による渋滞に気疲れしています。観光客の比較的少ない時期とはいえ、少なくはないです。それが毎年、1年の1/3かかるとなると転職もチラつきます。余程、福利厚生が充実していないと厳しいと思います。 質問〔福利厚生の充実の質疑応答もありましたが、それも限度があり、開院にあたり道路の問題は県への働きかけなどされているのでしょうか？〕 若い10代（学生）向けのアクションも始動済み良いですが、2年後の開院、現役向けに転職、就職を引きつけるには早急な課題だと思います。	北部医療組合では過去に北部医療センター整備地周辺の交差点について、病院の開業に伴う増加車両を想定して交通量の解析を行いました。職員の出退勤時や利用者の集中する可能性のある時間帯においても渋滞が発生する可能性は低いという結果となっております。このため現在のところ、県等に対して道路整備の働きかけは行っておりません。
	余談ですが、北部地域の人口の割に多い（との）がん死亡率、や二次検診の受診率の低さなども、高齢化もありますが、バス路線の減少...行きたくても通院する負担はかなり大きいと思います。 道路の整備が進まないなら、病院からのバス（患者用、職員用）運行なども考えて頂けたらと思います。	北部医療センターへの交通アクセス手段については、市町村のコミュニティバスや民間事業者との連携及び役割分担等の議論を踏まえ、検討を進めていく必要があるものと考えております。
伊江村1	2つの急性期病院を統合する事のメリットは理解できますが、沖縄県に大規模災害が発生した際、県内北部消防本部や消防組合からの急患搬送が公立沖縄北部医療センターに集中することが予想されます。 本センターで対応する事が可能なのか気になります。本センターで対応できないような事になったさいの対応についてもお示ししていただきたいです。よろしくお願いします。	大規模災害が発生した際には、沖縄県地域防災計画などの災害計画に基づき、沖縄県や国と連携しながら災害対応に当たっていくものと承知しております。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
伊江村 2	完成後、2つの病院の跡地利用はどのように考えていますか？	両病院の跡地利用については、一義的には両病院の設置者において検討されるべきものと考えております。
伊江村 3	・ 北部医療センターと伊江村診療所 相関関係は？	北部医療センターと伊江村立診療所の関係については、現時点では同センター開院後も村立診療所としてこれまでと変わりなく運営されるものと承知しております。 なお、将来的な対応としては、伊江村との協議を踏まえた上で伊江村立診療所が北部医療センターの附属診療所となることも制度上可能であります。
	・ 伊江診療所の運営、職員の処遇は？	ご質問の趣旨は、伊江村立診療所が北部医療センター附属診療所となった場合の運営や職員の処遇はどうなるのかというものと推察されます。 北部医療センター附属診療所の運営は、北部医療財団が行う予定となっております。 また、附属診療所の職員の処遇については現在検討を進めているところであります。
伊江村 4	・ 離島における救命救急に対応不可欠なドクターヘリについて、貴組合で所有する事は考えていますか？（県ドクターヘリと別に所有） 是非、北部の離島に対応できる様、貴組合でドクターヘリを複数配備して欲しい。	離島における急患等のヘリ搬送については、北部地域救急・救助ヘリ運航事業や沖縄県ドクターヘリ事業との連携を考えており、北部医療組合においてドクターヘリを所有する計画はありません。
	・ 救急科は「ER」と認識してよろしいでしょうか。	その認識で差し支えありません。
伊江村 5	"要望" 現在北部医師会病院により巡回バスが運行され伊江村から通院する場合非常に助かっています。医療センターが開院しても巡回バスの運行を継続してほしいと要望します。 運行バスが無ければ通院にかかる費用の出費が重い負担となります。 是非実現していただきたいと思います。	北部医療センターへの交通アクセス手段については、市町村のコミュニティバスや民間事業者との連携及び役割分担等の議論を踏まえ、検討を進めていく必要があるものと考えております。
	巡回バスが出発時間まで待機するまでの休憩室を作ってほしい。一般の待合室で休む（待つ？）ことは伝染の危険があります。	現時点でバス待合のための休憩室整備の計画はございません。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
伊平屋村 1	・離島・へき地医療を支える各診療所への島ナース（看護師派遣）の運営主体はどんなっちゃうのか？派遣できる人材は確保できるのか？	県立北部病院附属診療所及び北部12市町村が設置した診療所については、合意書において、原則として北部医療センターの附属診療所として位置づけられることとなっております。また、島ナース（看護師派遣）についても、関係機関と連携しながら検討していきたいと考えております。
	・特定健診を北部地区医師会の健康管理センターと契約して行っている状況ではあるが、特定健診を中心とするブース（センター）を設ける予定なのか。→統合により特定健診を行う上でどういったメリットがあるか？	北部医療センターにおいては、現在、北部地区医師会病院が担っている健診及び検診機能を引き継ぎます。 機能的な仕組みについては、ご意見を踏まえ、関係者と調整してまいります。
	・統合することによってこれまでの連絡ルートが変わり、連絡網が混乱する恐れがあるが、それについて今後対応する予定はあるか？	両病院の統合による患者等への不利益が生じないよう対応していきたいと考えております。
	・紹介状等の様式の変更はあるか？	現時点で北部医療センターにおける紹介状等の様式については決まっておりません。今後検討することとしております。
伊平屋村 2	長期的な医療機関としての持続可能性について採算はとれそうなのか？試算等しているのか。	県立北部病院及び北部地区医師会病院の既存データ等を用いた機械的な収支見通しを公立沖縄北部医療センター整備協議会においてお示ししております。
	もし試算があるのであれば結果は？	収支見通しについては、整備費や補助金の額の動向のほか人件費等の病院運営費用の見積り方によって大きく変動するものです。 このため前提となる諸条件の設定によって試算結果が異なるものとなっております。
	赤字が続くと県が負担するとの事。持続可能な体制か？ （でもとても素晴らしい計画・施設だと思います。期待しています。）	北部医療センターは、指定管理者制度を利用し効率的な経営を図るとともに、県及び北部12市町村が支える公立病院として持続可能な体制で運営されていくものと認識しております。
伊平屋村 3	名護のホテル代が上がっており、宿泊先を探すことも難しい。 離島から受診するためには宿泊を要することが多いと考えられる。 地域周産期母子医療センターも開設される中で、南部にある「がじゅまるの家」のような宿泊できる施設の併設は検討されないのでしょうか。	「がじゅまるの家」のような宿泊施設の整備については、ニーズの確認や市町村との役割分担などの議論を踏まえ検討されるものと認識しており、現在のところ、北部医療センター併設の宿泊施設の整備予定はございません。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
伊平屋村 4	「離島・へき地医療」の具体的な対応について 離島医療機関との日常的な連携はどうなるのか？	北部医療センターは、離島・へき地の附属診療所における日常的な疾病や外傷等の診断、治療の支援を行うほか、へき地医療拠点病院として巡回診療の実施やＩＣＴの活用（遠隔診療等）により、離島住民に対する専門医療の提供を行うことを計画しております。
伊平屋村 5	運天港から病院まで送迎はできますか？	北部医療センターへの交通アクセス手段については、市町村のコミュニティバスや民間事業者との連携及び役割分担等の議論を踏まえ、検討を進めていく必要があるものと考えております。
	眼科・耳鼻科など専門科の巡回診療できますか？	沖縄県では、離島・へき地における専門科の受診機会を確保するため、「専門医派遣巡回診療支援事業」として眼科や耳鼻咽喉科等の巡回診療を実施しております。北部医療センターにおける専門科巡回診療につきましては、県や琉球大学など関係機関と検討していきたいと考えております。
伊是名村 1	・当初予定していた整備費444億円と見積もっていたが建設資材の高騰や技術者不足などの原因で76億円余上回り520億8千万円と上方修正された様であるが、最近のイスラエル、アメリカによるイランへの石油施設の爆撃等があり、原油の高騰が懸念される中、現契約の工事請負額で完了の見込みが建つのか疑問である。仮に膨れ上がった場合どう対処するか。	仮に工事費が現契約から増額となった場合には、財源の工面等について県などと調整を行い、工期に影響を来たすことのないよう適切に対応してまいります。
	・開院を2028年に予定しているが周辺道路の整備において市道である名護市との整備計画はどうなっているか。	北部医療組合では過去に北部医療センター整備地周辺の交差点について、病院の開業に伴う増加車両を想定して交通量の解析を行いました。職員の出退勤時や利用者の集中する可能性のある時間帯においても渋滞が発生する可能性は低いという結果となっております。このため、現在のところ、追加の道路整備を行う予定はありません。
	・開業10年後には35億円の資金不足が生じる見通しであるとの記事を見たが、その場合設置主体である沖縄県北部医療組合（県と北部12市町村）が応分の負担をするのか。	北部医療センターの運営に要する指定管理料の財源に充てるため、県及び北部12市町村はあらかじめ定められた負担金を支払うこととなっておりますが、当該負担金では足りない場合には、その不足額は県が負担することとなっております。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
伊是名村 2	・すばらしい基幹病院が北部に開院するという事でとても期待しているところです。 離島、伊是名、伊平屋村が、運天港から現在北部病院まで公共交通が少なくタクシーでしか通えません。片道2500円以上かかる事から往復で5000円と経済的負担も大きいことからぜひ、コミュニティバス等の日帰りで通える病院にして欲しいと考えております。公立医療センター病院側としては、どう考えていますか。	北部医療センターへの交通アクセス手段については、市町村のコミュニティバスや民間事業者との連携及び役割分担等の議論を踏まえ、検討を進めていく必要があるものと考えております。
	又、日帰りを予定したが入院になった場合、及び長期入院になった時、とくに乳幼児の両親等の為に休めるスペース、部屋はあるでしょうか。	北部医療センターにおいては、小児病棟の全てのベッドに付添人の休憩用ソファベッドの設置を予定しております。
	もう一つ、自家用で通院を希望し、日帰を要するときの駐車場のスペースの確保は出来るのでしょうか。（この内容については、以前の住民説明会でも質問が出ましたが、今後検討していくと回答でした）	駐車場は、外来・一般用と職員用を合わせて約1,300台程度整備することとしており、患者及び職員の利便性を考慮した必要台数を確保していると考えております。
伊是名村 3	・伊是名から受診する際、日帰りで帰れるように待ち時間等の配慮はありますか？ 病院受診から支払いまでの待ち時間、薬局行って支払いまでの待ち時間でギリギリになり、昼食を食べる時間がなく帰ることになったり、船に間に合わなくなるようなことがないようにしていただきたいです。 毎回、ヒヤヒヤして日帰りしているので、その辺の配慮があってほしいです。	北部医療センターでは、診察や検査、会計の待ち時間短縮、利便性向上を図るための取り組みとして、患者呼び出しシステム（待合表示板、スマホ連動等）、AI問診、自動精算機等の導入を検討しております。

公立沖縄北部医療センター住民説明会 質問・回答一覧（リモート会場）

会場名	質問内容	回答
	・ イートインスペースで、待ち時間、受付番号の表示等がありますか？ 日帰りで帰る場合、食事する時間がとれないので、子供達だけでも食事をあげたいです。 イートインスペースで食事をあげながら、会計や診察を待てるのか、スマホなどで、待ち時間の状況確認ができるのかおしえていただきたいです。	北部医療センター1階フロアに弁当、総菜、おにぎり、パン、サンドイッチなどを提供するコンビニエンスストア、軽食等を提供するカフェ及びカフェと隣接してイートインスペースを設ける予定としております。 診察待ちについては、スマートフォンから待ち時間の状況確認が可能となる患者呼び出しシステムを導入予定です。
	・ 運天港までのバスがあってほしいです。やんばる急行バス利用すると、日帰りで帰れず、タクシーを利用しないと日帰りが出来ない。タクシー代がかかり、移動手段もなく、受診を控えてしまう高齢者の声を聞きます。定期的に運天港から病院までのバスがあるのかおしえていただきたいです。	北部医療センターへの交通アクセス手段については、市町村のコミュニティバスや民間事業者との連携及び役割分担等の議論を踏まえ、検討を進めていく必要があるものと考えております。